2023年3月期　第２四半期決算説明会

2022年10月28日

株式会社エンプラス

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

目次

2023年3月期　経営方針

2023年3月期　第２四半期　決算説明
・連結損益実績
・決算総括

2023年3月期　連結業績見通し

各事業の動向と事業戦略

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2023年3月期　経営方針

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

経営方針　－事業ポートフォリオ（中期戦略）－

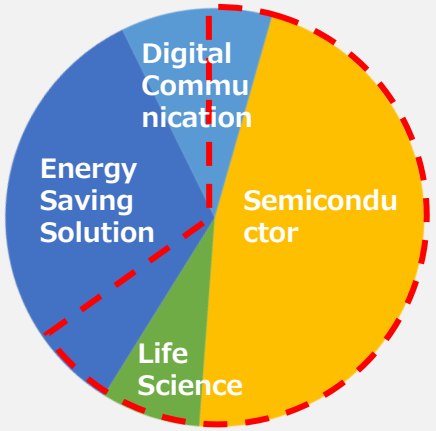
Essential領域※の事業に注力

Semiconductor	事業自体が Essential in 高成長領域
Life Science	
Energy Saving Solution	より Essential な領域への業態転換 (例) 環境車・オプトプラニクス
Digital Communication	

※Essential領域：人と地球のQOL （クオリティ・オブ・ライフ）を高める領域

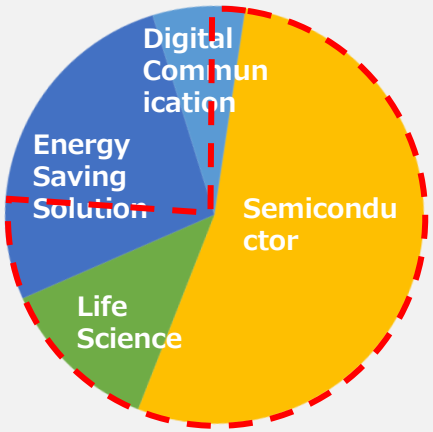
売上構成のイメージ

Essential比率 60%



2022年3月期

75%



2025年3月期

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

経営方針

経営基本方針

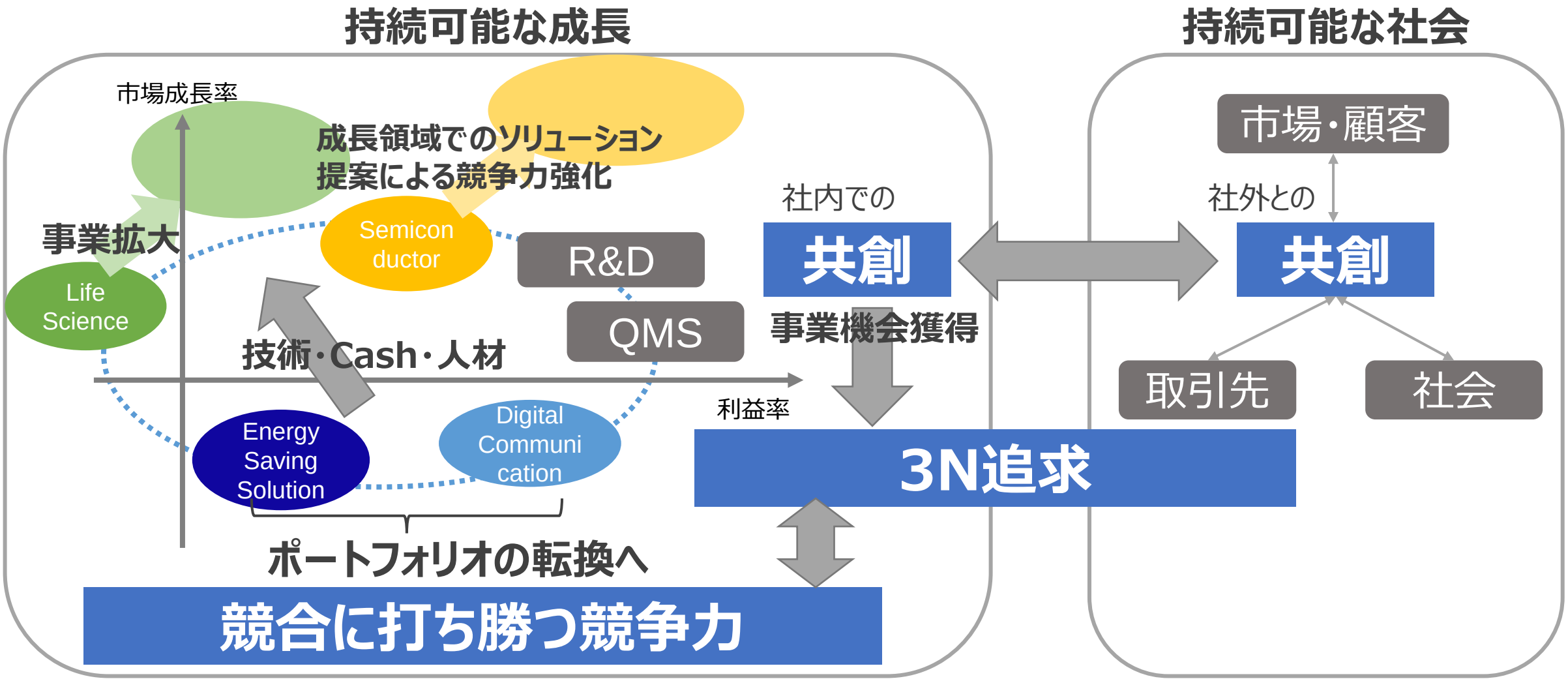
「競争力」と「共創力」による成長の実現

重点推進事項

- 競争力の強化
- 共創の推進
- 3N(新技術・新規顧客・新規用途)の追求
- Digital Communicationの基幹事業化

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

経営方針　－事業ポートフォリオ（重点推進事項）－



Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2023年3月期　第２四半期　決算説明

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2023年3月期　第２四半期損益実績（連結）

（単位： 億円）

	2022/3期 2Q累計実績	2023/3期 2Q累計実績	増減	（参考）上期計画
売上高	161.1	210.9	+30.9%	190.0
売上原価率	59.6%	52.5%	△7.1pt	53.7%
営業利益	16.5	43.5	+163.2%	34.0
経常利益	15.3	45.0	+194.4%	35.0
親会社株主に帰属する四半期純利益	9.1	17.6	+93.6%	25.0
1株当り四半期純利益	103.44円	199.84円	96.40円	283.57円
期中平均レート（US$）	110.20円	133.46円	23.26円	（計画レート）130.00円

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

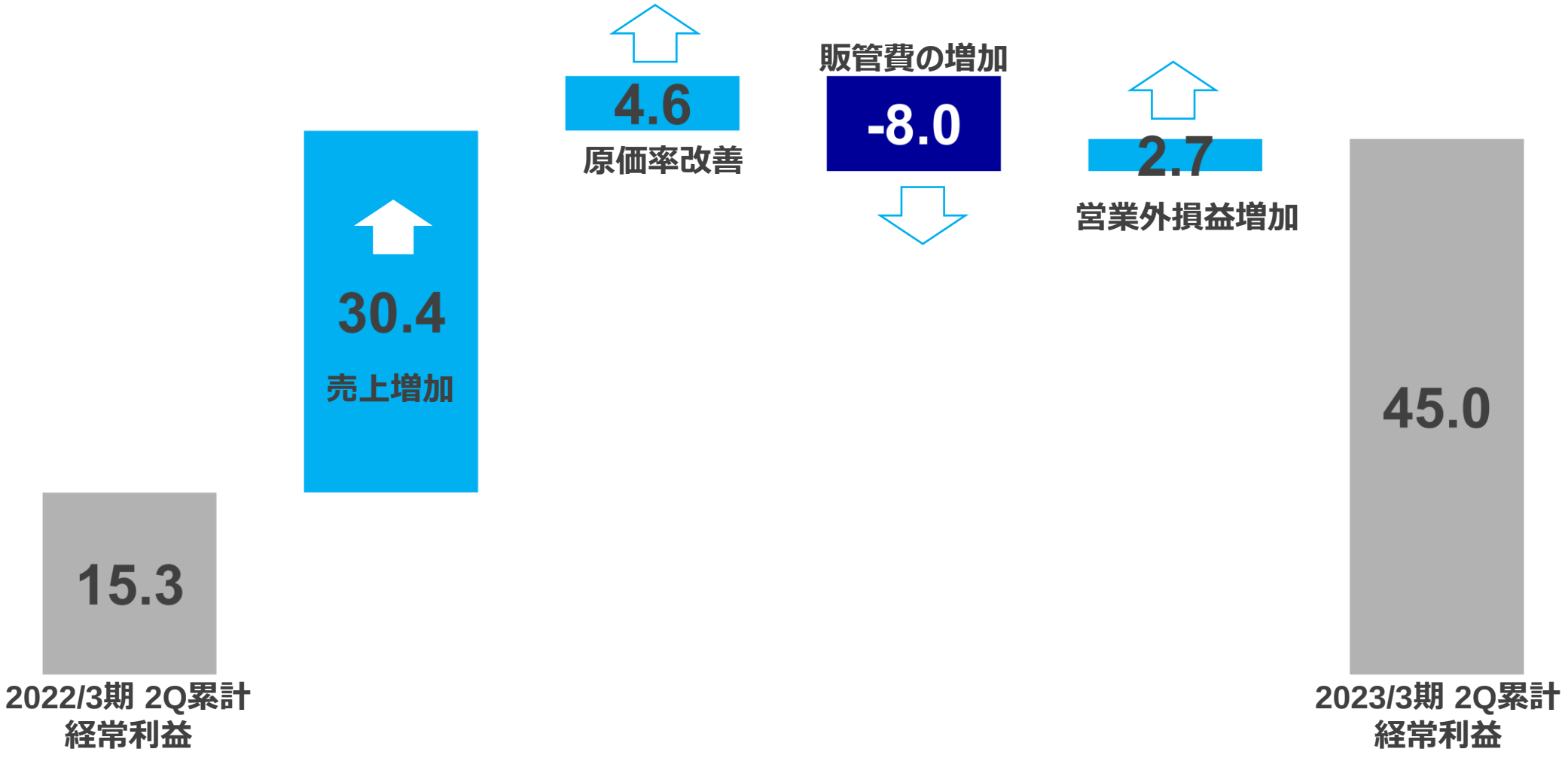
為替の影響

2023/3期 2Q累計 期中平均レート（US$）	1ドル　133.46円
2022/3期 2Q累計 期中平均レート（US$）	1ドル　110.20円
為替感応度（US$） ※1円変動による影響額（年間）	売上高　約2億円 営業利益　約1.5億円
2023/3期 2Qの為替影響額 ※前年同期比	売上高＋22.5億円、営業利益＋16.5億円 （為替影響を除く：売上高188.4億円、営業利益27.0億円）
海外売上高比率	約80%

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

経常利益の増減分析＜前2Q累計比＞

（単位： 億円）



Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2023年3月期　第２四半期セグメント別実績（連結）

（単位： 億円）

		2022/3期 2Q累計実績	2023/3期 2Q累計実績	増減
Semiconductor	売上高	73.2	116.4	+58.9%
	売上原価率	58.1%	48.1%	△10.0pt
	営業利益	9.9	31.2	+213.2%
Life Science	売上高	12.0	17.4	+45.0%
	売上原価率	73.7%	53.5%	△20.2pt
	営業利益	△6.6	△1.6	-
Digital Communication	売上高	20.4	18.4	△9.8%
	売上原価率	40.6%	36.6%	△4.0pt
	営業利益	6.6	7.4	+10.9%
Energy Saving Solution	売上高	55.3	58.6	+5.8%
	売上原価率	65.5%	66.0%	+0.5pt
	営業利益	6.5	6.5	△0.6%

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

連結四半期損益実績推移

（単位： 億円）

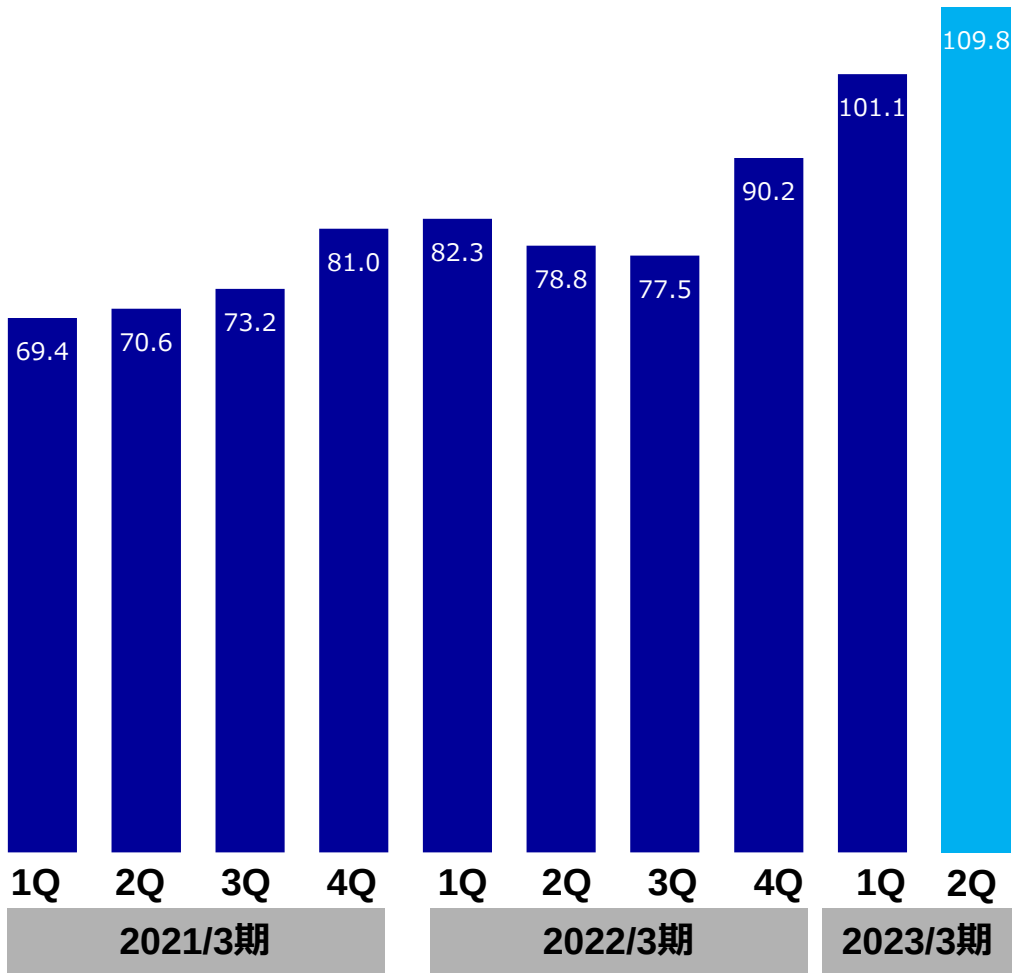
	2022/3期			2023/3期	
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	78.8	77.5	90.2	101.1	109.8
売上原価率	59.7%	62.0%	56.8%	53.7%	51.4%
営業利益	7.8	5.6	13.8	19.5	23.9
経常利益	7.6	5.3	13.8	21.3	23.6
親会社株主に帰属する四半期純利益	4.5	5.2	10.8	15.0	2.5
1株当り四半期純利益	51.96円	59.97円	123.61円	170.44円	29.45円

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

連結四半期損益実績推移

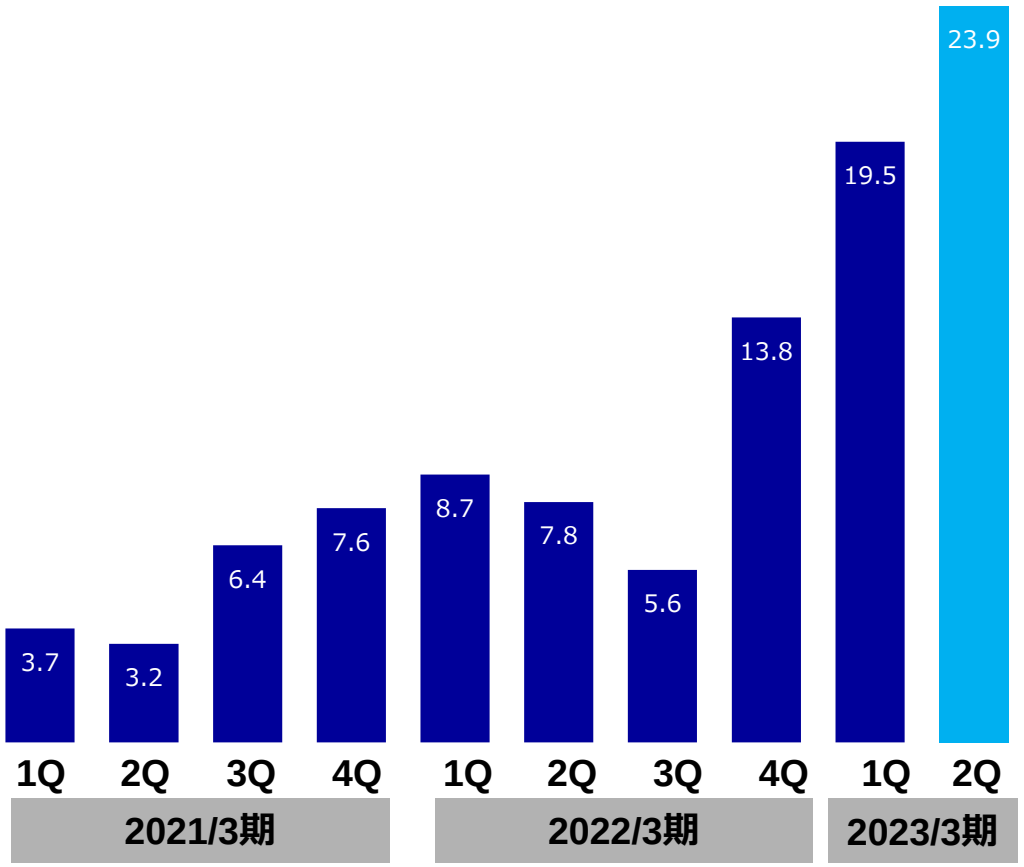
＜売上高の推移＞

（単位： 億円）



＜営業損益の推移＞

（単位： 億円）



Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

セグメント別四半期損益実績推移（連結）

（単位： 億円）

		2022/3期			2023/3期	
		2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
Semiconductor	売上高	36.7	37.2	48.6	56.6	59.8
	売上原価率	59.2%	59.0%	52.1%	49.9%	46.3%
	営業利益	4.5	4.6	11.3	14.5	16.7
Life Science	売上高	6.2	5.9	6.7	7.9	9.5
	売上原価率	67.8%	63.4%	58.4%	54.5%	52.7%
	営業利益	△2.9	△2.9	△2.2	△1.0	△0.5
Digital Communication	売上高	9.0	7.5	7.3	9.4	9.0
	売上原価率	41.2%	46.0%	45.0%	38.6%	34.5%
	営業利益	2.7	1.8	2.0	3.5	3.8
Energy Saving Solution	売上高	26.7	26.8	27.4	27.2	31.3
	売上原価率	64.6%	70.3%	67.8%	66.6%	65.5%
	営業利益	3.4	1.9	2.6	2.5	3.9

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

決算総括

➢ 第２四半期損益実績

全体　：半導体の需要が好調で、対前年同期比で増収増益
（売上高＋30.9%、営業利益＋163.2%、四半期純利益＋93.6%）

セグメント別　：Semiconductor事業は、第2四半期累計で過去最高の売上、パソコンやスマートフォンなどハイテク製品の需要減少による半導体需要の調整という懸念はあるものの、今後も半導体需要は増加傾向の見込み

Life Science事業は、既存及び新規顧客の受注が増加、第2四半期累計で過去最高の売上、今後も堅調な見込み

Digital Communication事業は、減収増益
光通信関連の光学デバイスは、世界的な半導体不足の影響が改善し、増収
LED用拡散レンズは、液晶テレビ市場の需要減少の影響で減収

Energy Saving Solution事業は、半導体不足が徐々に解消に向かい、自動車の生産回復とプリンター需要の増加により増収

➢ 業績見通し：上方修正

➢ 配当予想：年間60.00円（増配）

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

決算総括

➢ 販売管理費

（単位： 億円）

2022/3期　2Q累計	2023/3期　2Q累計	差　異
48.6	56.6	8.0

- 労務費　3.8億円
- 旅費交通費　0.8億円
- 研究開発費　3.0億円

➢ 営業外損益

（単位： 億円）

2022/3期　2Q累計	2023/3期　2Q累計	差　異
△1.2	1.5	2.7

- 為替差益　4.4億円（2022/3期　2Q累計　為替差損　0.1億円）
- 持分法による投資損失　3.4億円（2022/3期　2Q累計　1.9億円）

➢ 特別損益

（単位： 億円）

2022/3期　2Q累計	2023/3期　2Q累計	差　異
△0.6	△15.3	△14.7

- 投資有価証券評価損　14.3億円

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2023年3月期　第２四半期　実施施策

株式会社エンプラス半導体機器 事務所移転

名　称：株式会社エンプラス半導体機器

住　所：〒330-0854　埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目10番17号

　　シーノ大宮サウスウィング17階

最寄駅：JR大宮駅　西口

開設日：2022年8月8日

事業拡大に向けた取り組みの一環

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2023年3月期　連結業績見通し

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2023年3月期　連結業績見通しの前提

enplas

連結業績

- 第２四半期の実績及び下期見通し、為替の影響を織り込み上方修正
- 販管費は下期に予定している人的投資及び開発投資を見込み、増加
（上期：56億円　→　下期：64億円）
- 事業計画レート（US$）：130.00円　→　138.00円

Semiconductor事業

- パソコンやスマートフォンなどハイテク製品の需要減少による半導体需要の調整という懸念はあるものの、当社が注力しているサーバーや自動車用途の需要は増加傾向が続く見通し

Life Science事業

- 遺伝子検査市場の拡大に合わせて、7/29時点の想定を上回る見通し

Digital Communication事業

- 光通信関連の光学デバイスは、世界的な半導体不足の影響が改善し、7/29時点の想定を上回る見通し

Energy Saving Solution事業

- 半導体不足が徐々に解消に向かい、7/29時点の想定を上回る見通し

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2023年3月期　連結業績見通し

（単位： 億円）

	2023/3期	2023/3期	
	2Q累計実績	7月時点の見通し	10月時点の見通し
売上高	210.9	375.0	430.0
売上原価率	52.5%	53.3%	52.6%
営業利益	43.5	65.0	84.0
経常利益	45.0	65.0	86.0
親会社株主に帰属する当期純利益	17.6	46.0	46.0
1株当り当期純利益	199.84円	521.78円	521.61円
配当金	30.00円	50.00円	60.00円

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2023年3月期　セグメント別売上見通し

（単位： 億円）

	2023/3期	2023/3期	
	2Q累計実績	7月時点の見通し	10月時点の見通し
Semiconductor	116.4	196.0	236.0
Life Science	17.4	32.0	35.0
Digital Communication	18.4	36.0	39.0
Energy Saving Solution	58.6	111.0	120.0

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

2023年3月期　設備投資・減価償却・研究開発費（ご参考）

（単位： 億円）

	2022/3期 通期実績	2023/3期 2Q累計実績	2023/3期 通期
設備投資	17.4	7.5	30.0
減価償却	23.1	11.2	24.0
研究開発	6.6	6.2	12.0

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

各事業の動向と事業戦略

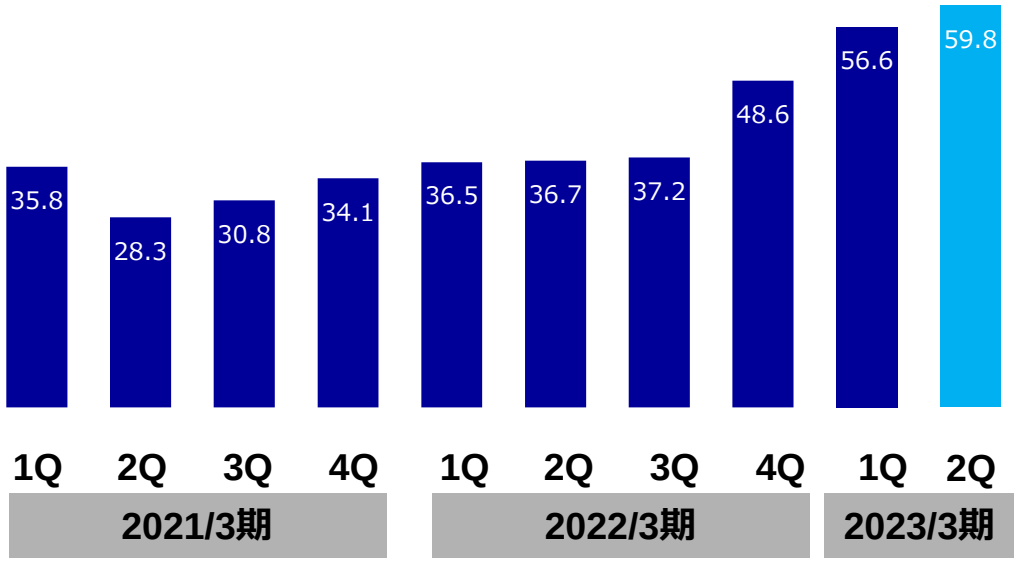
Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

Semiconductor事業

環境	■ サーバー、自動車、モバイルの各用途の需要が高水準を維持 ■ パソコンやスマートフォンなどハイテク製品の需要減少による半導体需要の調整という懸念はあるものの、当社が注力しているサーバーや自動車用途の需要は今後も増加傾向
事業戦略	■ 競争力の強化 ■ モノづくり体制の強化（共創の推進） ■ 新ソリューション開発の推進

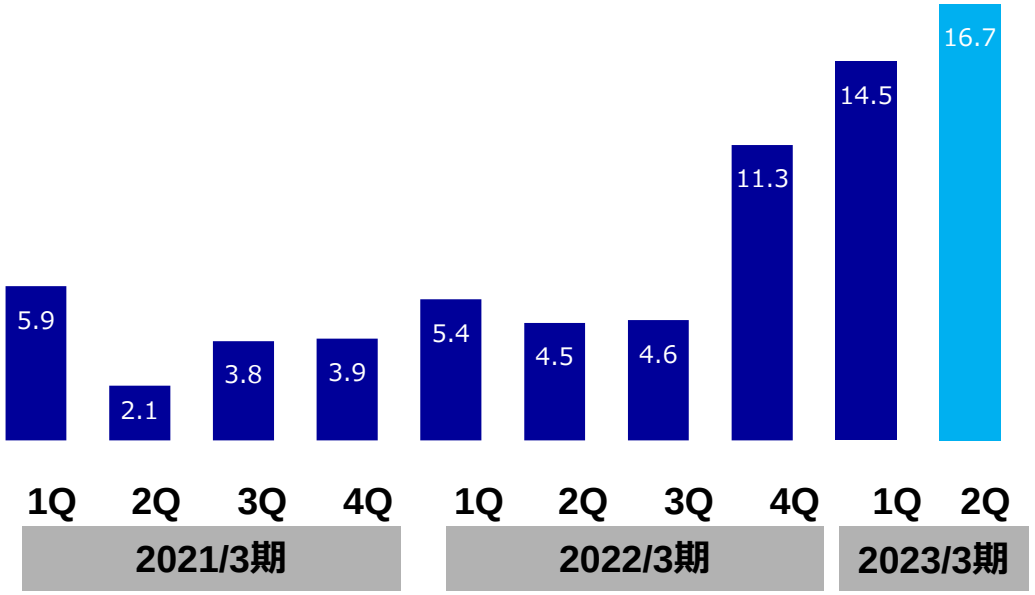
＜売上高の推移＞

（単位： 億円）



＜営業損益の推移＞

（単位： 億円）



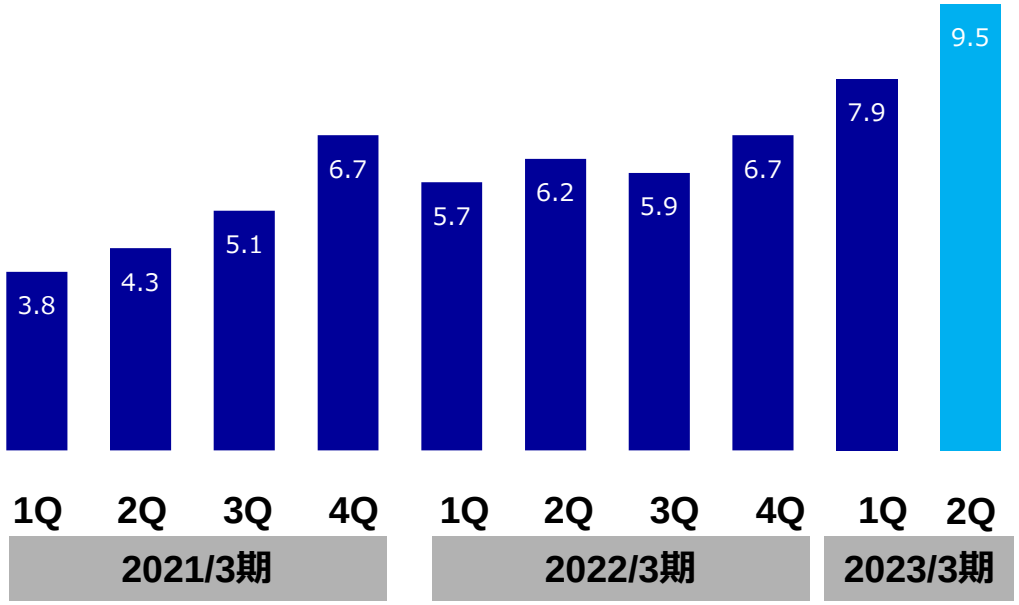
Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

Life Science事業

環境	■ 人々の健康意識の高まりによる遺伝子検査市場の成長期待 ■ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による臨床現場即時検査やホームユースの臨床検査デバイスなどの需要の高まり
事業戦略	■ 遺伝子検査普及への貢献 ■ QOL向上への貢献

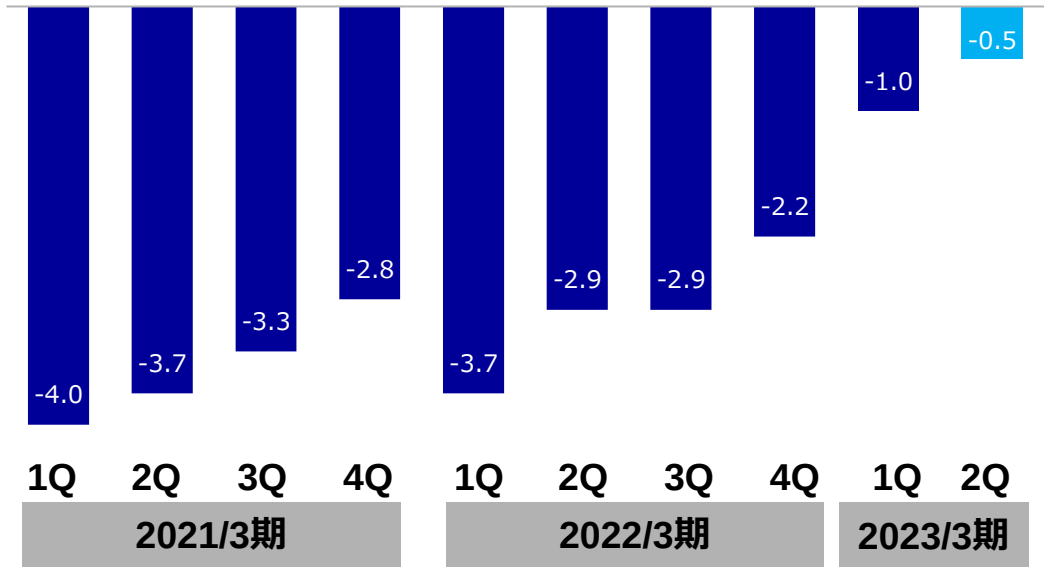
＜売上高の推移＞

（単位： 億円）



＜営業損益の推移＞

（単位： 億円）



Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

Digital Communication事業

環境

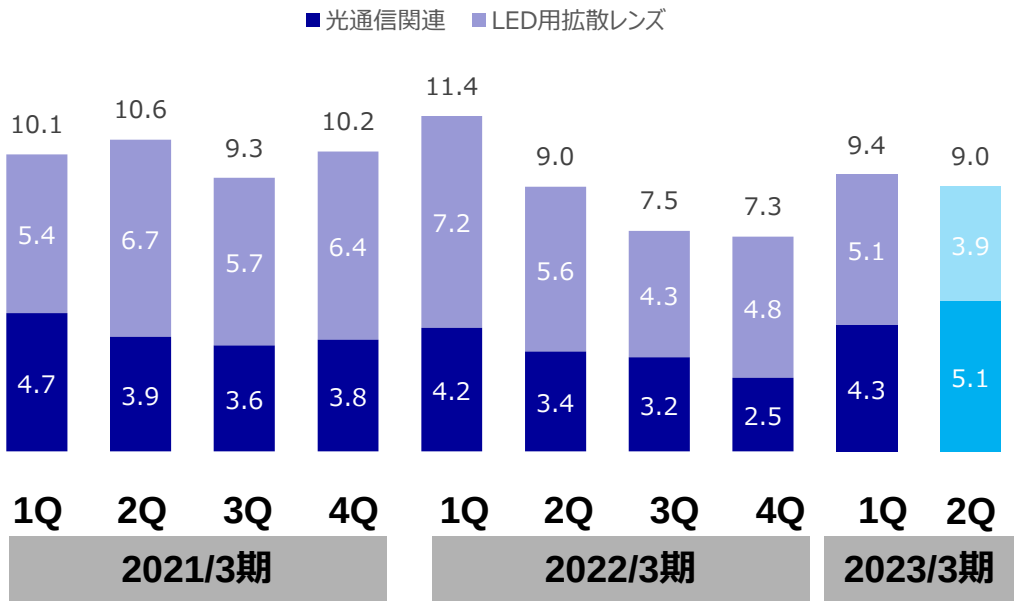
- 光通信関連は、データトラフィック量の増加に伴い、データセンター需要は拡大基調
- LED用拡散レンズは、巣ごもり需要の反動やウクライナ情勢の悪化、インフレによる液晶テレビ市場の需要減少を受け低迷

事業戦略

- 光通信関連はハイエンド領域での新製品拡大とデータセンター以外への事業領域拡大
- LED用拡散レンズは既存領域の収益性確保と、新ソリューションの開発

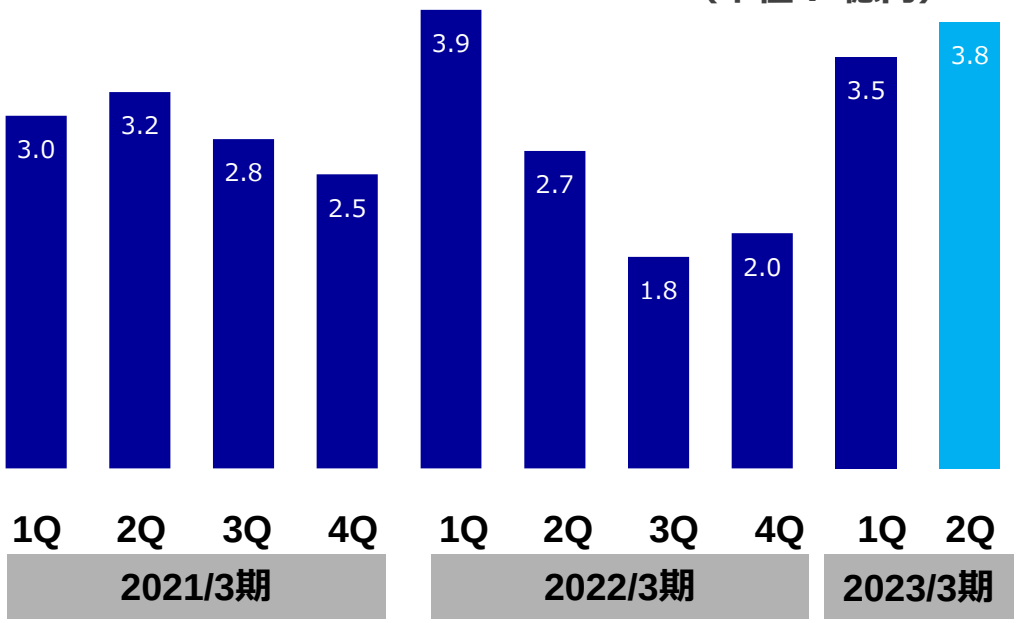
＜売上高の推移＞

（単位： 億円）



＜営業損益の推移＞

（単位： 億円）



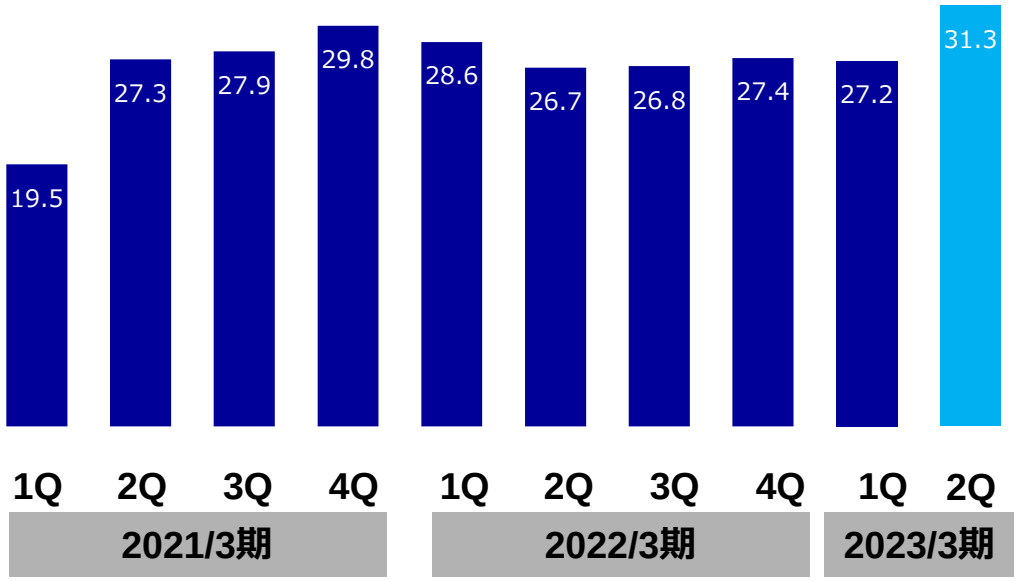
Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

Energy Saving Solution事業

環境	■ 自動車市場は経済活動の再開やEV化への流れが加速し、需要は拡大傾向 ■ 自動車関連とOA関連は、世界的な半導体不足や部品の調達難は解消傾向
事業戦略	■ 持続可能な成長に向けた業態転換 ■ ギヤソリューションビジネスでの成長

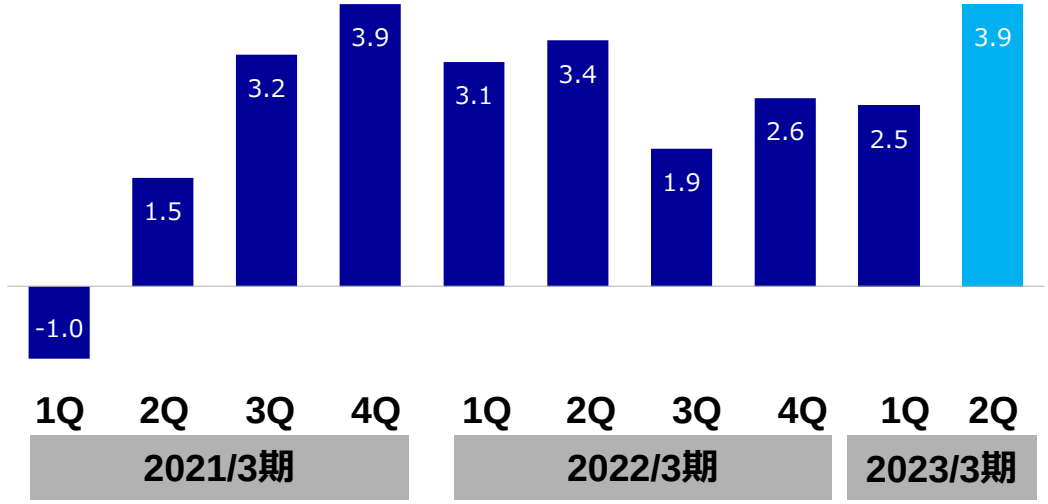
＜売上高の推移＞

（単位： 億円）



＜営業損益の推移＞

（単位： 億円）



Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved

株式会社エンプラス　決算説明会

https://www.enplas.co.jp/

（東証プライム　6961）

本資料で記述されている業績見通し並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

Copyright ©2022 ENPLAS CORPORATION, All rights reserved